

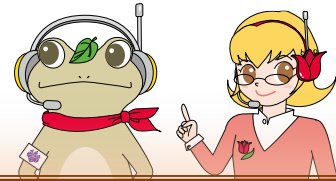
2023 年度附属図書館 LA 企画「卒論・修論に間に合う 論文執筆のポイント！ ～参考文献の調べ方・イントロの書き方のノウハウ公開～」を開催しました！

11 月 7 日に、LA 企画として論文の書き方に関するセミナーを中央図書館本館 2 階チャットルーム側ギャラリーゾーンにおいて、3 年ぶりの対面形式で開催しました。

本企画は、卒業論文・修士論文の執筆を始めるにあたり、学生自身がイントロダクションの書き方を体系立って教わる機会が少ないのでは？という意見から立ち上がりました。イントロダクションは、先行研究を基に自分の研究の位置づけをする重要なパートです。そのため、イントロダクションの書き方や参考文献の探し方・管理の仕方について LA がこれまでに蓄積してきたノウハウを皆さんに共有しました。

この Prism では LA が紹介した内容をまとめましたので、皆様の学びのサポートになれば幸いです。

セミナーの様子



セミナーでは、イントロダクションに関するケース紹介と参考文献の活用法を紹介しました。イントロダクションの書き方は、分野によって差があります。そのため、ケース紹介では、教育学・生物学・情報科学のバックグラウンドを有する博士後期課程の LA が、イントロダクションに書くべき要素とその書き方について説明しました。「自己の研究の位置付け」を強調するための先行研究の扱い方や、その研究背景を読者に理解させるための専門用語の説明の仕方、さらには論文全体の一貫性を保つために適したイントロダクションを書くタイミングなど、どれも LA の経験を基に語られており、実践的かつ汎用的な内容でした。

次に、参考文献の活用法として、文献の検索・管理方法について説明しました。イントロダクションの内容を充実させるために参考文献を探す必要があります。今回は、検索方法として、Google Scholarと附属図書館 HP より閲覧できるデータベースを取り上げました。

Google Scholar は関連するキーワードから多くの文献を探すことのできる便利な検索エンジンです。

データベースとは、様々な学術文献を収集し、検索しやすいよう工夫して組織化されたもので、総合的なものから特定の分野に特化したものまであります。分野を絞って検索できるほか、分野ならではのフィルタリングが行えるため、関連性の高い文献を素早く見つけることができます。学生・教職員であれば無料で使用できますので、是非ご活用ください。

続けて、文献の管理について、RefWorks をご紹介しました。多くの文献を適切に管理することは、情報の整理に加えて論文に出典を記載する上でも重要です。今回紹介した文献管理ソフト RefWorks は、文献の管理の簡便さはもちろんのこと、文献目録の作成がワンクリックで行えます。また、専門に合わせた参考文献リストが作成されるため大変便利なツールです。こちらも学生・教職員であれば無料で使用できますので、是非ご活用ください。



あとがき



当日はあいにくの雨でしたが、30 名の学群生・大学院生の方々に参加頂きました。質疑応答では、沢山の質問を頂き、どれも、真剣に研究に向き合うからこそ生まれるディープなものでした。LA もその想いに答えるべく真摯に回答させて頂きました。参加して下さった方々、誠にありがとうございました。論文執筆の健闘をお祈りしています。

また、筑波大学附属図書館では、これ以外にもイベントを随時開催しています。開催情報は Web

ページや X(旧 Twitter)等で配信しておりますので、興味のあるものがあれば、お気軽にご参加ください。

(文責：LA SAITO/TAKADA)



学生サポートデスクで相談してみよう！！

大学院生である LA が、筑波大生の皆さんの学習や大学生活の悩みをサポート！！

皆さんと対話を通して一緒に考え、LA 自身の経験に基づいて精一杯アドバイスします◎

学生サポートデスクの詳細や予約はこちら→

